

2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月14日

上場会社名 株式会社レーサム 上場取引所 東
 コード番号 8890 URL <http://www.raysum.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小町 剛
 問合せ先責任者 (役職名) 上級執行役員管理本部長 (氏名) 片山 靖浩 TEL 03-5157-8881
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	20,100	△59.7	2,146	△76.7	1,955	△78.7	1,413	△76.6
2019年3月期第3四半期	49,912	48.0	9,223	4.1	9,183	5.0	6,028	△30.9

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 1,438百万円 (△74.6%) 2019年3月期第3四半期 5,657百万円 (△35.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	36.95	—
2019年3月期第3四半期	139.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	84,232	42,500	50.5
2019年3月期	76,398	43,322	56.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 42,500百万円 2019年3月期 43,322百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	45.00	45.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	45.00	45.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	69,000	17.9	12,050	9.6	11,850	8.7	7,700	△2.5	200.30

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	46,081,400株	2019年3月期	46,081,400株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	8,101,586株	2019年3月期	7,631,514株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	38,259,097株	2019年3月期3Q	43,121,589株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高20,100百万円（前年同四半期比59.7%減）、営業利益2,146百万円（同76.7%減）、経常利益1,955百万円（同78.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,413百万円（同76.6%減）となりました。

なお、前連結会計年度におけるサービシング事業からの事業撤退により、当社グループの報告セグメントは、当連結会計年度より、資産運用事業、プロパティマネジメント事業、その他の事業の3区分となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

(資産運用事業)

当事業では、富裕層のお客様の資産内容や事業承継及び相続対策等の目的に沿ったスキームを、個々のお客様ごとに考え、これに対応する将来性のある物件を提供します。取扱商品は、商業、オフィス、マンション、宿泊施設、教育施設、医療施設等と多岐にわたり、価格帯は数億円から百億円を超える規模に及びます。

さらに、将来の社会的課題に応じ家賃負担能力を高められる事業を自ら創り出すオペレーション型の商品開発にも取り組み、コミュニティホテル、高度医療手術センター、地元定着型の飲食店などを立ち上げ、これらを組み込んだ商品を提供しております。

当第3四半期連結累計期間の当事業の売上高は14,392百万円（前年同四半期比68.0%減）、セグメント利益は1,919百万円（同78.5%減）となりました。

前年同四半期比で減収減益であるものの、通期計画達成に向けて、1月以降では大型物件も含めた具体的引き合い、販売交渉、販売契約締結の動きが活発となっております。

(プロパティマネジメント事業)

当事業では、当社から収益不動産を購入され保有されるお客様の不動産保有目的を実現させるため、様々な用途の不動産の最有効活用を追求し、最適なテナントの誘致や各種調整を図り、きめ細かい建物賃貸・管理サービスを行っております。

当第3四半期連結累計期間の当事業の売上高は3,829百万円（前年同四半期比14.7%増）、セグメント利益は989百万円（同7.7%増）となりました。

(その他の事業)

当事業では主に、連結子会社である㈱アセット・ホールディングスが「レーサム ゴルフ&スパ リゾート」の運営を、㈱WeBaseがコミュニティ型ホテルの運営を、㈱LIBERTE JAPONがフランス・パリのパティスリー・ブーランジェリーの日本での店舗の運営を行っております。

また、当連結会計年度より、環境エネルギー事業としてガスエンジン発電機を開発、製造、販売する㈱レイパワが販売を本格的に開始し、高度医療の支援事業を担う㈱ベストメディカルが支援先クリニックの立ち上げ支援と新たな支援先の開拓に向けてスタートを切っております。

当第3四半期連結累計期間の当事業の売上高は1,878百万円（前年同四半期比52.1%増）となり、新規事業立ち上げに係る初期コストもありセグメント損失は342百万円（前年同四半期は166百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の変動状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて7,461百万円増加し、74,130百万円となりました。

これは主に、現金及び預金が12,137百万円減少して9,937百万円となり、販売用不動産が3,808百万円増加して38,150百万円、仕掛販売用不動産が14,597百万円増加して21,943百万円となったことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて371百万円増加し、10,101百万円となりました。

これは主に、有形固定資産が取得による増加と減価償却等による減少で470百万円増加、無形固定資産が32百万円減少、投資その他の資産が66百万円減少したことによるものであります。

上記の結果、当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて7,833百万円増加し、84,232百万円となりました。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べて8,655百万円増加し、41,731百万円となりました。

これは前連結会計年度に係る法人税等2,181百万円の支払等による未払法人税等の減少2,253百万円、物件販売の契約手付金等による前受金の増加2,090百万円、物件工事費等による未払金の減少307百万円、新規の資金調達と借入金の返済による差額で借入金が9,839百万円増加、当社管理物件の管理契約変更に伴う預り敷金の減少677百万円が主な要因であります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて821百万円減少し、42,500百万円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が1,413百万円増加した一方、剰余金の配当により1,730百万円減少、当社役員及び従業員に対する譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分により170百万円の増加、自己株式の取得により700百万円減少したことが主な要因であります。

なお、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は50.5%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）は、前連結会計年度末に比べて12,137百万円減少し、9,937百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な変動要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は、18,755百万円の減少となりました。主な増加要因は、資産運用事業における売上高14,392百万円に係る資金増加であり、主な減少要因は、資産運用事業における販売用不動産の仕入の支払額27,297百万円と仕掛販売用不動産の開発進展並びに販売用不動産の改修工事代金の支払額2,631百万円、法人税等の支払額3,269百万円、及び販売費及び一般管理費の支出に係る資金減少であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は、767百万円の減少となりました。主な増加要因は、投資有価証券の売却による収入500百万円であり、主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出762百万円、貸付けによる支出309百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は、7,386百万円の増加となりました。主な増加要因は、新規の資金調達と借入金の返済による差額での増加9,839百万円であり、主な減少要因は、自己株式の取得による支出700百万円、及び配当金の支払額1,729百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2018年5月11日の「平成30年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,075	9,937
営業未収入金	299	320
販売用不動産	34,342	38,150
仕掛販売用不動産	7,346	21,943
前渡金	1,201	1,225
未収還付法人税等	58	649
その他	1,359	1,916
貸倒引当金	△13	△13
流動資産合計	66,669	74,130
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,106	2,016
土地	1,131	1,131
その他(純額)	730	1,290
有形固定資産合計	3,968	4,439
無形固定資産		
その他	462	429
無形固定資産合計	462	429
投資その他の資産		
投資有価証券	3,306	2,934
繰延税金資産	723	476
出資金	13	173
その他	1,255	1,646
投資その他の資産合計	5,298	5,232
固定資産合計	9,729	10,101
資産合計	76,398	84,232

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	1,000	—
1年内返済予定の長期借入金	1,084	1,286
未払金	990	683
未払法人税等	2,255	2
前受金	443	2,533
賞与引当金	9	2
関係会社整理損失引当金	123	123
その他	835	831
流動負債合計	6,743	5,463
固定負債		
長期借入金	21,420	32,058
流動化調整引当金	0	0
資産除去債務	4	4
預り敷金	4,781	4,103
その他	126	101
固定負債合計	26,333	36,268
負債合計	33,076	41,731
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	12,253	12,160
利益剰余金	42,344	42,027
自己株式	△11,379	△11,817
株主資本合計	43,317	42,470
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△51	△45
為替換算調整勘定	56	74
その他の包括利益累計額合計	5	29
純資産合計	43,322	42,500
負債純資産合計	76,398	84,232

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	49,912	20,100
売上原価	37,184	14,848
売上総利益	12,727	5,252
販売費及び一般管理費	3,504	3,105
営業利益	9,223	2,146
営業外収益		
受取利息	16	16
為替差益	113	—
受取家賃	4	4
その他	8	8
営業外収益合計	142	28
営業外費用		
支払利息	155	201
財務手数料	5	6
為替差損	—	1
その他	21	9
営業外費用合計	182	219
経常利益	9,183	1,955
特別利益		
関係会社株式売却益	208	—
投資有価証券売却益	—	127
特別利益合計	208	127
特別損失		
事業撤退損	40	—
特別損失合計	40	—
税金等調整前四半期純利益	9,351	2,083
法人税、住民税及び事業税	2,116	426
法人税等調整額	1,207	243
法人税等合計	3,323	669
四半期純利益	6,028	1,413
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,028	1,413

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	6,028	1,413
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△343	6
為替換算調整勘定	△27	18
その他の包括利益合計	△370	24
四半期包括利益	5,657	1,438
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,657	1,438
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	9,351	2,083
減価償却費	169	288
賞与引当金の増減額(△は減少)	△12	△7
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5	0
流動化調整引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△127
受取利息及び受取配当金	△16	△16
支払利息	155	201
関係会社株式売却損益(△は益)	△208	—
事業撤退損	40	—
売上債権の増減額(△は増加)	59	△21
販売用不動産の増減額(△は増加)	9,256	△3,818
仕掛販売用不動産の増減額(△は増加)	316	△14,597
買取債権の増減額(△は増加)	△266	—
前渡金の増減額(△は増加)	△1,073	△16
預け金の増減額(△は増加)	114	△80
前受金の増減額(△は減少)	92	2,089
未払金の増減額(△は減少)	994	△281
未払又は未収消費税等の増減額	450	403
預り敷金の増減額(△は減少)	385	△671
匿名組合出資金の増減額(△は増加)	25	—
その他	△525	△727
小計	19,312	△15,299
利息及び配当金の受取額	15	15
利息の支払額	△154	△202
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	956	△3,269
営業活動によるキャッシュ・フロー	20,130	△18,755
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,112	△762
無形固定資産の取得による支出	△0	△48
投資有価証券の取得による支出	△1,136	—
投資有価証券の売却による収入	—	500
出資金の払込による支出	△8	△160
関係会社株式の取得による支出	△756	—
関係会社株式の売却による収入	1,710	—
サービシング事業撤退による収入	6,583	—
貸付けによる支出	△278	△309
その他	166	12
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,167	△767
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	674	△1,000
長期借入れによる収入	14,287	16,425
長期借入金の返済による支出	△18,455	△5,585
自己株式の取得による支出	△10,700	△700
配当金の支払額	△1,823	△1,729
その他	—	△23
財務活動によるキャッシュ・フロー	△16,018	7,386
現金及び現金同等物に係る換算差額	56	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	9,336	△12,137
現金及び現金同等物の期首残高	20,634	22,075
現金及び現金同等物の四半期末残高	29,970	9,937

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年6月21日開催の取締役会決議に基づき、当社役員及び従業員に対する譲渡制限付株式報酬として、自己株式176,000株を処分いたしました。また、2019年8月9日開催の取締役会決議に基づき、自己株式646,000株を取得いたしました。この結果、単元未満株式の買取請求等による増加72株を加えて、当第3四半期連結累計期間において自己株式が437百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が11,817百万円となっております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

I. 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
	資産運用事業	プロパティマネジメント事業	サービシング事業	その他の事業			
売上高							
外部顧客への売上高	44,956	3,339	381	1,235	49,912	—	49,912
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	32	—	18	50	△50	—
計	44,956	3,371	381	1,253	49,962	△50	49,912
セグメント利益又は損失(△)	8,911	918	11	△166	9,675	△451	9,223

(注) セグメント利益又は損失の調整額△451百万円は、各報告セグメントに配分していない、一般管理費等の全社費用△451百万円及びセグメント間取引消去0百万円であります。この調整額を差引いた後のセグメント利益の額は、四半期連結損益計算書に計上している営業利益の額9,223百万円と一致しております。

II. 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
	資産運用事業	プロパティマネジメント事業	その他の事業			
売上高						
外部顧客への売上高	14,392	3,829	1,878	20,100	—	20,100
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	63	18	82	△82	—
計	14,392	3,893	1,897	20,182	△82	20,100
セグメント利益又は損失(△)	1,919	989	△342	2,566	△419	2,146

(注) セグメント利益又は損失の調整額△419百万円は、各報告セグメントに配分していない、一般管理費等の全社費用△419百万円及びセグメント間取引消去0百万円であります。この調整額を差引いた後のセグメント利益の額は、四半期連結損益計算書に計上している営業利益の額2,146百万円と一致しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当社グループは、従来、セグメント情報における報告セグメントを「資産運用事業」、「プロパティマネジメント事業」、「サービシング事業」、「その他の事業」の4区分としておりましたが、前連結会計年度における「サービシング事業」からの事業撤退により、当社グループの報告セグメントは、当連結会計年度より、「資産運用事業」、「プロパティマネジメント事業」、「その他の事業」の3区分となりました。